

# 四万十町 婚活支援プラン



令和5年3月  
四万十町

## ■目次

1. 計画策定の背景	・・・P02
2. 現状の課題	・・・P03～04
3. 今後の取組	・・・P05～17
(1) 評価指標	・・・P05～07
(2) 今後の取組	・・・P08～17
① 広報活動の強化	・・・P09
② 結婚支援センター(ワンストップ 窓口)の設置	・・・P10～11
③ 関係団体の役割の見える化	・・・P12～13
④ イベントの実施	・・・P14～15
⑤ フォローアップ	・・・P16～17

# 1. 計画策定の背景

本町では、人口減少・少子高齢化への対策が喫緊の課題となっており、第2次四万十町総合振興計画及び第2期四万十町まち・ひと・しごと・創生総合戦略において「結婚支援策の推進」を掲げ、各種取り組みを行ってきた。

しかしながら、依然として人口減少に歯止めがかからず、出生数も年々減少傾向にあることから、人口減少対策の一環として、婚姻数の増加に向けた取組の強化が必要になっている。

そこで、町の婚活支援の具体的な内容を取りまとめた「四万十町婚活支援プラン」を策定する。



## 2. 現状の課題（アンケートの実施）

全国的な婚姻数減少の要因として、非正規雇用の増加、女性の社会進出の増加、経済的な不安や価値観の多様化などが考えられている。これらの要因により、未婚化・非婚化・晩婚化が進行していると考えられる。

そこで、四万十町の現状の課題等を把握するためにアンケートを実施した。

### 【アンケート】

1. 対象年齢：20～55歳（独身）
2. 対象地区：四万十町民
3. 調査期間：2022年8月1日～8月31日
4. 回答者数：222名

## 2. 現状の課題（アンケート&関係機関へのヒアリング結果）

アンケートや関係機関へのヒアリング結果から以下の課題が見えてきた。

※アンケート結果は、別紙（令和4年度四万十町婚活支援プラン策定委託業務「結婚アンケート」まとめ）参照

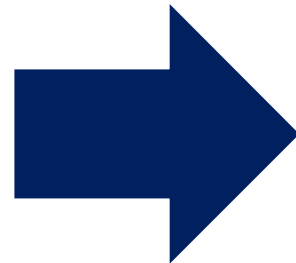
- (1) 適当な相手に巡り合えない。出会いの場所がない。
- (2) 経済的に不安を抱えている。
- (3) 「婚活」自体が恥ずかしい。他人に知られたくない。
- (4) 年齢的に早いと感じている。結婚を急いでいない。
- (5) 婚活アドバイザー制度を知らない。

上記結果に基づき、具体的な計画を策定する。

### 3. 今後の取組(1) 評価指標① 婚姻数

#### ○実績

年度		婚姻数
平成29年	2017年	44組
平成30年	2018年	39組
令和1年	2019年	45組
令和2年	2020年	43組
令和3年	2021年	26組
	平均	39組



#### ○目標

年度		婚姻数
令和5年	2023年	30組
令和6年	2024年	35組
令和7年	2025年	40組
令和8年	2026年	40組
令和9年	2027年	40組
令和10年	2028年	50組

出会いから結婚までに平均4年6か月と言われている為、様々な取り組みで効果が表れるのが令和10年以降と想定。そのため、計画としては、5か年ではなく、6か年の目標として設定する。

※コロナ禍の状況で近年の婚姻数も減少傾向。

### 3. 今後の取組(1) 評価指標② 相談者数～マッチング件数

婚姻数を増加させるためには、相談・マッチング・イベント参加者数を増やし出会いの機会を増やす必要がある。指標はそのすべての数値を設定する。

#### ○目標

年度		相談者数 (相談窓口)	個別マッチング数 (婚活サポーター)	イベント参加者数 (全4回)	マッチング成功数 (各種取組等)
令和5年	2023年	20人	10組	40人	3組
令和6年	2024年	25人	12組	40人	5組
令和7年	2025年	30人	15組	50人	5組
令和8年	2026年	40人	20組	60人	7組
令和9年	2027年	40人	20組	60人	7組
令和10年	2028年	40人	20組	60人	10組



### 3. 今後の取組(1) 評価指標③ 婚活サポーター並びにサブサポーター数

婚姻数を増加させるためには、婚活サポーターの支援が重要となる。そこで、新たに、町独自の婚活サポーター制度を創設。サポーター、サブサポーターを中心に新規相談者の開拓や伴走支援を実施する(※県婚活サポーター9名)

#### ○目標

年度		町婚活サポーター	町婚活サブサポーター	合計
令和5年	2023年	10人	10人	20人
令和6年	2024年	12人	26人	38人
令和7年	2025年	14人	28人	42人
令和8年	2026年	15人	30人	45人
令和9年	2027年	15人	30人	45人
令和10年	2028年	15人	30人	45人



## (2) 今後の取組

アンケートや関係機関へのヒアリング結果から見えてきた課題を解決するべく定めた評価指標を達成するために以下の取組を実施する。

- ① 広報活動の強化
- ② 結婚支援センター(ワンストップ窓口)の設置
- ③ 関係団体の役割の見える化
- ④ イベントの実施
- ⑤ フォローアップ

## (2) 今後の取組 ①広報活動の強化

### 【事業概要】

結婚や出産等に関する情報に関心が低く、気が付いた時には、結婚や出産が難しいという年齢になっている場合が多い。

そこで、結婚や婚活、出産等に対しての意識を高める広報活動を様々な媒体を活用して実施する。

### 【具体的な施策】

- ①婚活専用公式LINE
- ②広報誌やケーブルテレビ等による継続的広報
- ③町独自の婚活サポーター制度を創設（事業所や町内サポーターの増員）

## (2) 今後の取組 ②結婚支援センター(ワンストップ窓口)の設置

### 【事業概要】

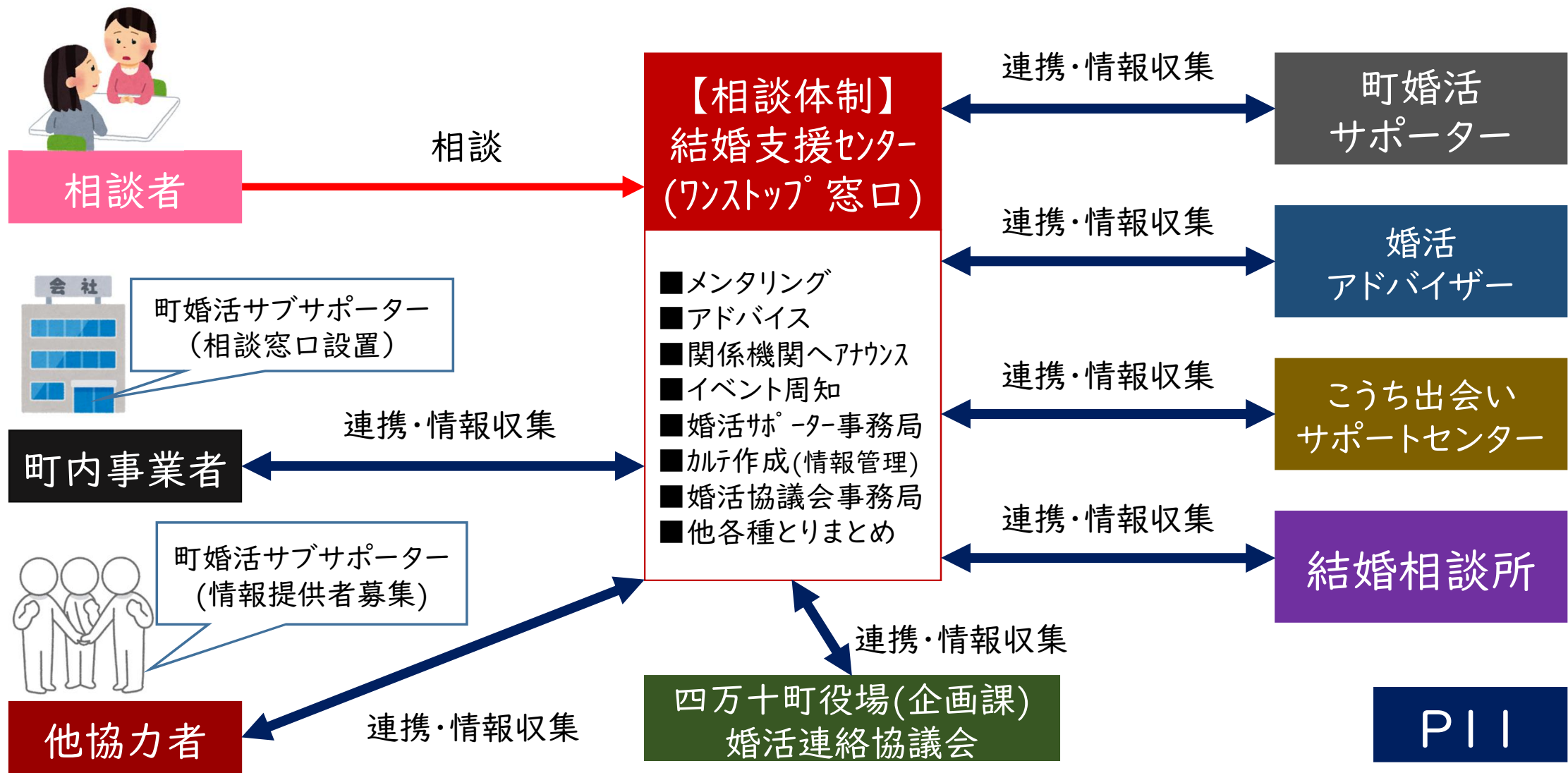
平日・夜間・休日等に関わらず、相談しやすい窓口を設置することにより、気軽に婚活相談できる環境として、結婚支援センター(ワンストップ窓口)を整備する。そこから、必要に応じ町婚活サポーターをはじめとする様々な支援者への橋渡しの役割も担う。

また、四万十町婚活連絡協議会や町婚活サポーターの事務局並びに町内事業者等とも連携し、様々な結婚に関する情報を集め、相談者に提供する。

### 【具体的な機能】

- ①相談窓口(メンタリング、アドバイス、関係機関へのアナウンス等)
- ②広報窓口(コミュニティ&恋活&婚活イベント等の告知、公式LINE管理等)
- ③総合窓口(町婚活サポーター&四万十町婚活連絡協議会事務局)

# (2) 今後の取組 ②結婚支援センター(ワンストップ窓口)の設置【イメージ図】



## (2) 今後の取組 ③関係団体の役割の見える化

### 【事業概要】

各種婚活等を支援する団体が町内外に存在している。結婚支援センター（ワンストップ窓口）も含めそれぞれの役割を明確にし、婚活者等が相談しやすい体制を整備する。

また、新たに「“四万十町版”婚活サポーター制度」を創設する。

### 【主な関係団体と役割】

- ①町婚活サポーター（個別の相談窓口&マッチングを実施等）
- ②婚活アドバイザー（1人1回限定 婚活に関する具体的アドバイス等）
- ③こうち出会いサポートセンター（県内のマッチング・イベントのアナウンス等）
- ④結婚相談所（具体的アドバイス&紹介&マッチング等）
- ⑤町婚活サブサポーター（事業者の情報提供窓口、町内の情報提供者等）

## (2) 今後の取組 ③関係団体の役割の見える化【イメージ図】



### 結婚支援センター (ワンストップ窓口)

- メンタリング
- アドバイス
- 関係機関へアウンス
- イベント周知
- 婚活サポーター事務局
- 加付作成(情報管理)
- 婚活協議会事務局
- その他各種とりまとめ

・料金:無料  
・対象:  
町内&移住希望者

町役場(企画課)  
婚活連絡協議会

### 町婚活サポーター

- ・料金:無料、対象:町内、移住希望者
- ・個別の相談窓口&マッチングを実施等

### 婚活アドバイザー

- ・料金:無料、対象:町内、移住希望者
- ・1人1回限定 婚活に関するアドバイス等

### こうち出会い サポートセンター

- ・料金:有料、対象:県内
- ・マッチング・イベントのアナウンス等

### 結婚相談所

- ・料金:有料、対象:全国
- ・具体的アドバイス&紹介&マッチング等

### 町婚活サブサポーター (事業者&情報提供者)

- ・料金:無料、対象:町内、移住希望者
- ・連携・情報収集

## (2) 今後の取組 ④イベントの実施

### 【事業概要】

出会いが少ないというアンケート等の意見を踏まえ、イベントを実施する。ただし、婚活イベントよりも婚活を主としないコミュニティイベントへのニーズが高いため、段階に応じたイベントを実施し、出会いの場を積極的に準備する。

### 【具体的なイベント】

- ①婚活を意識させない取組（クラブ活動、研修等でキッカケをつくる）
- ②コミュニティイベント（ターゲット：友達&恋人を作りたい人）
- ③恋活イベント（ターゲット：恋人を作りたい）
- ④婚活イベント（ターゲット：結婚したい人）

### ※番外編：

- 既婚者を交えたイベント等の実施、○親への相談会の実施
- 自分をみがくイベント（ライフデザインセミナー、花嫁花婿修業 等）



## (2) 今後の取組 ④イベントの実施【イメージ図】

出会い ↓ お付き合い ↓ 結婚

① 婚活を意識させない取組 (クラブ活動、研修等でキッカケをつくる)

② コミュニティイベント (ターゲット: 友達 & 恋人を作りたい人)

③ 恋活イベント (ターゲット: 恋人を作りたい)

④ 婚活イベント (ターゲット: 結婚したい人)

※ 番外編:

○ 既婚者を交えたイベント等の実施、○ 親への相談会の実施

○ 自分をみがくイベント (ライフデザインセミナー、花嫁花婿修業 等)

※ スタッフを若い独身者を中心とし、出会いのキッカケに

## (2) 今後の取組 ⑤フォローアップ

### 【事業概要】

マッチングがうまくいかない場合、また、うまくいったとしても、デートの仕方や、お互いの気持ちがわからない等の課題を抱える人も少なくない。

そこで、結婚までの間、必要に応じて伴走支援を実施し、結婚に至るまでのフォローアップを実施する。

### 【具体的な施策】

町婚活サポーターがフォローアップの中心を担うが以下の課題についても取り組みを行い、より充実したフォローアップを行う体制の整備を行う。

- ①新たなサポーターの確保
- ②相談者と同世代のサポーターの確保
- ③男性サポーターの確保
- ④サポーターへの研修の充実

## (2) 今後の取組 ⑤フォローアップ【イメージ図】

